

平成 28 年度 ふるさとのづくり支援事業

市町村名	福岡県 久留米市	
事業名	日本酒の劣化防止装置の開発	
企業等概要	企業等の名称	株式会社ブティック九州
	代表者氏名	代表取締役 佐藤 啓二
	所在地	福岡県久留米市諏訪野町 2 0 8 1 - 2
	連絡先	0942-35-8604
	U R L	—

平成 30 年 2 月現在

【事業者概要】

日本酒をはじめ、醤油等の発酵食品の生産が歴史的に盛んである久留米市において、醸造設備の機器販売やメンテナンスを行う法人である。設備機器同士を組み合わせた商品を取引先に提案する他、本申請事業のように一部設備の開発等も行っている。

【事業概要】

◇背景・経緯

本件事業地である久留米市は 15 もの酒蔵が現存する全国有数の酒どころであり、日本酒の生産は地域における重要な伝統産業である。近年の海外における日本酒需要の高まりを受け、輸出拡大による成長産業化に期待が寄せられているが、輸送中の品質劣化が課題となっていた。

そこで、日本酒中の溶存酸素を窒素置換することで酸化による劣化を防止し、長期間の保存を可能にする装置の開発に取り組んだ。

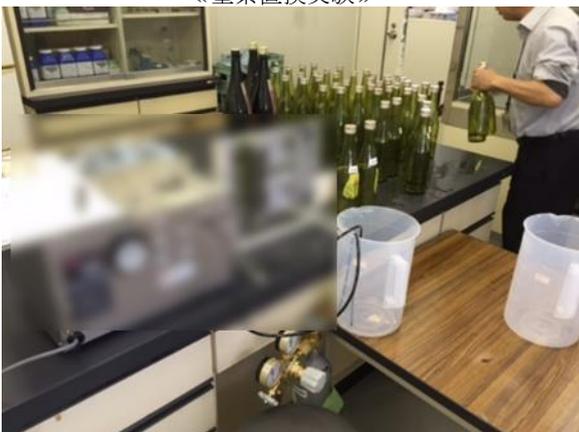


《酒蔵開きの様子》

◇研究開発の概要

通常 3 か月～半年で劣化するとされる保存期間を、次年の新酒が製造されるまでの 1 年以上とする事を目的に研究を開始した。溶存酸素の窒素置換については連携企業の置換装置を採用し、技術指導を受けることで効率的に開発を進める事が出来た。

《窒素置換実験》



開発した装置により窒素置換を施した日本酒で、官能検査および成分分析を行っている。

開発において最も苦勞している点は、長期保存の成果を得るために長期の試験期間を要すること。

また、新酒での有効性の検証には酒蔵の協力が不可欠であるが、新酒の醸造が行われる冬は酒蔵の一年で最も忙しい時期と重なっていた。

※知的財産保護のため画像を一部修正しています

【成果】

◇特徴・地域性

現在、日本酒の酸化防止として主流となっている壇上部の空気を窒素に置き換える方式は打栓機と一体化したものが多く、導入費用が高額で、有効性も曖昧なものであった。今回開発した装置は製造ラインに後付が可能であり、導入費用を200万円～300万円に抑えられる見込みである。

窒素置換後の日本酒について、専門家による官能検査の結果、劣化の防止に一定の効果が認められた。また、榊久留米リサーチパーク（KRP）による成分分析の結果、窒素置換による酒質の変化等も無く、共に良好な結果を得られている。



《官能検査の様子》



《KRP：研究支援を目的に設立した第3セクター》

◇商品化・販売先

現在は試作の段階であり、新酒に対する試験結果も得られていない。年度内に得られる成果をもとに製品化を進める予定。

商品化する際には、試験データに基づいた最適な窒素置換比率等の提示とともに製品を売り込むことを想定しているため、販売開始は30年度の冬以降となる見込み。

商品導入先の酒蔵により味の好み、酒成分にばらつきがあるため、それぞれに合わせた窒素配分の検討が必要となる。



《様々な蔵で日本酒の製造が行われている》

【今後の展望】

商品化に当たり懸念されるのが競合他社の存在であるが、連携企業の置換装置には特許があるため、同装置における研究データを先駆けて取得できる点は優位にある。

商品化後の販売に際しては、本事業者が全国同業者との流通チャンネルを有していることから、商品の効果が実証されれば全国展開も見込まれる。製造ラインの変更が不要な点や価格面で導入のハードルが低いことも強みとなる。

また、酒蔵は外部からの営業が難しいと言われるが、これまでに積み重ねた取引実績や信頼のある本事業者であるからこそ、開発商品の提案を受け入れられる可能性が高い。